

第6期末 (2023年4月17日)

基準価額	9,212円
純資産総額	23億円
騰落率	△1.5%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00~17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ／コムジェスト 新興国成長株ファンド (資産成長型)

【愛称】 エマージング・セレクト (成長)

追加型投信／海外／株式

運用報告書(全体版)

作成対象期間:2022年4月16日~2023年4月17日

第6期(決算日 2023年4月17日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ／コムジェスト新興国成長株ファンド(資産成長型)」は、このたび第6期の決算を行いました。

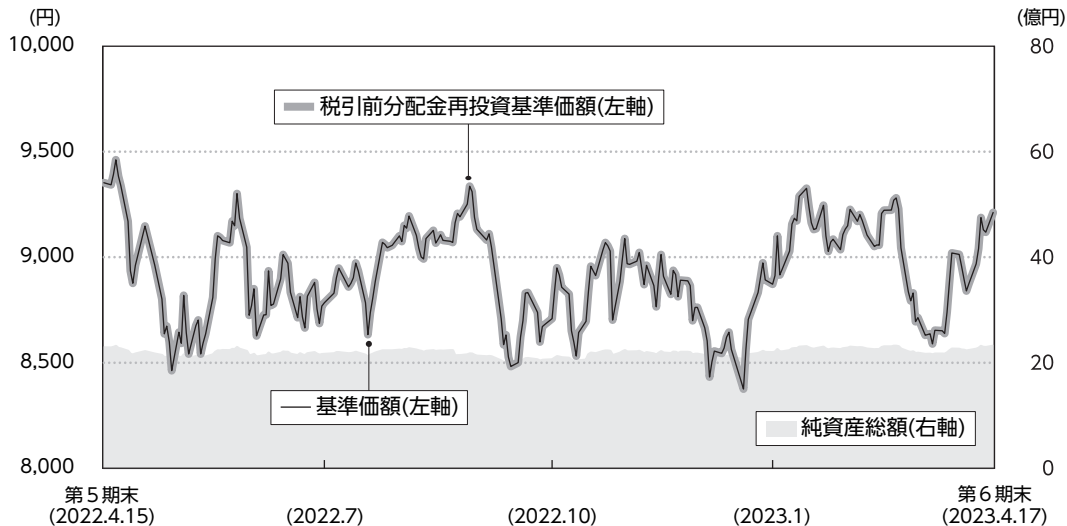
当ファンドは、「コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド(適格機関投資家限定)」への投資を通じて、新興国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2022年4月16日～2023年4月17日

基準価額等の推移



第6期首	9,353円	既払分配金	0円
第6期末	9,212円	騰落率(分配金再投資ベース)	△1.5%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 中国におけるゼロコロナ政策の緩和姿勢や米国の金融引き締めが緩和されるとの期待感などから、1月に新興国株式市場が上昇したこと
- ・ 3月下旬から当期末にかけて、欧米金融当局の支援策により金融システム不安への過度な懸念が後退したことや、米金融政策の転換に対する期待感が高まったことなどから、新興国株式市場が反発したこと

<下落要因>

- ・ 期初から5月中旬にかけて、米国の金融引き締めへの懸念や中国における新型コロナウイルスの感染拡大などから、新興国株式市場が下落したこと
- ・ 3月上旬から中旬にかけて、欧米における金融システムの不安定化や景気減速への懸念が高まったことなどから、新興国株式市場が下落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第6期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	93円	1.042%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ <p>期中の平均基準価額は8,916円です。</p>
(投信会社)	(22)	(0.244)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(69)	(0.776)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.008	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.008)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	94	1.050	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

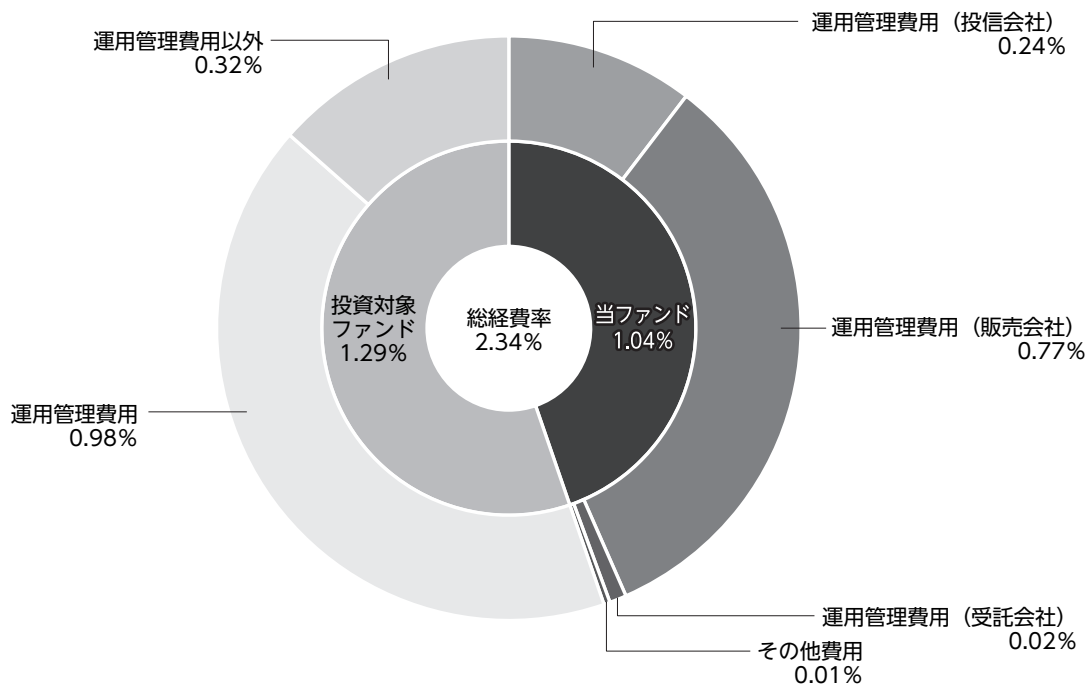
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、投資信託証券の概要に表示しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.34%**です。



総経費率 (①+②+③)	2.34%
①当ファンドの費用の比率	1.04%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.98%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.32%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

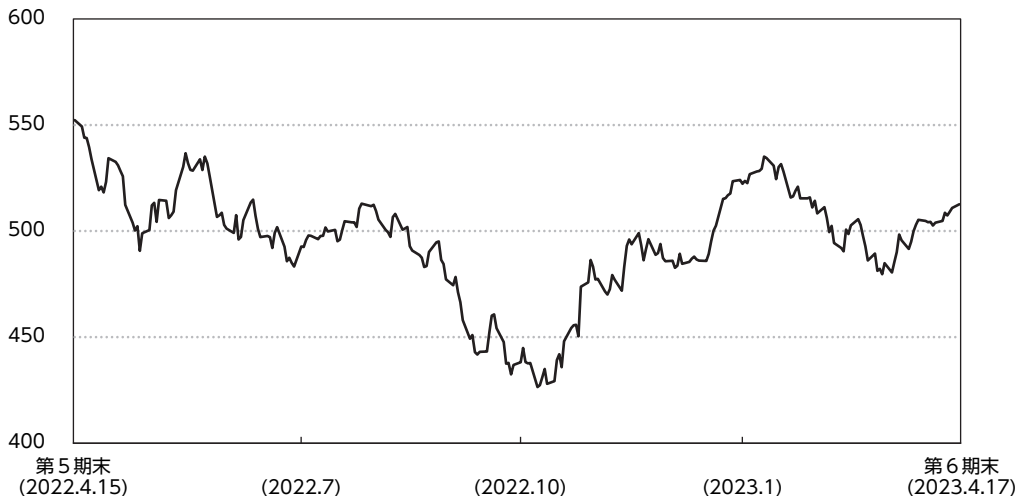
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

海外株式市況

【MSC I エマージング・マーケット・インデックス（配当除き、米ドルベース）の推移】



(注) 指数はブルームバークのデータを使用しています。

当期の新興国株式市場（MSC I エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース））は下落しました。

期初から7月中旬にかけては一時上昇する場面もありましたが、米国の金融引き締めへの懸念や中国における新型コロナウイルスの感染拡大、それを受けた行動規制の影響や景気刺激策への期待感の後退などから、新興国株式市場は下落基調で推移しました。さらに8月中旬から10月末にかけては、米ドル高の進行による新興国市場からの資金流出懸念、中国における政治リスクの増大やゼロコロナ政策が維持されるとの見方が強まったことなどから、新興国株式市場は大きく下落する展開となりました。11月上旬から1月末にかけては、中国におけるゼロコロナ政策の緩和姿勢や米金融引き締め緩和への期待感などから、新興国株式市場は上昇しました。その後は、欧米における金融システムの不安定化や景気減速への懸念が高まったことなどから下落しましたが、当期末にかけては欧米金融当局の支援策により過度な懸念が後退したことや、米金融政策の転換に対する期待感が高まったことなどから再び上昇しました。

ポートフォリオ

■当ファンド

「コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド（適格機関投資家限定）」への投資を通じて、新興国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

■コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド（適格機関投資家限定）

*主な投資対象となる「コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド（適格機関投資家限定）」のマザーファンドについての説明であり、コムジェスト・アセットマネジメント株式会社の資料（現地における当期末基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

個別銘柄については新興国株式を主要な投資対象とし、相対的に高い利益成長が持続すると見込まれる銘柄を中心に組み入れました。

当期末における業種配分は組入比率の高い順に、金融（20.9%）、生活必需品（19.5%）、情報技術（17.9%）としており、国・地域別配分は組入比率の高い順に、中国（22.2%）、ブラジル（13.7%）、韓国（13.2%）としています。

（注1）業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。以下同じです。

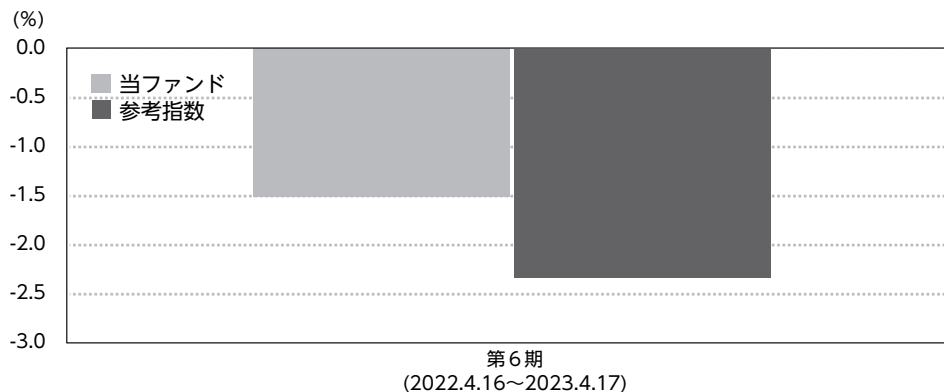
（注2）比率は対純資産総額比です。

（注3）国・地域はコムジェスト・アセットマネジメントの分類によるものです。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

参考指数との差異



当ファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）です。

当期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は-1.5%となり、参考指数騰落率（-2.3%）を上回りました。

これは、業種別における金融や素材セクターでの銘柄選択や国・地域別におけるブラジルの銘柄選択などがプラスに寄与したことによるものです。

（注1）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注2）参考指数の詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2022年4月16日~2023年4月17日
当期分配金(税引前)	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,377円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

「コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド（適格機関投資家限定）」への投資を通じて、新興国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド（適格機関投資家限定）

コムジェストの運用は100%ボトムアップアプローチ（個別企業の調査・分析から企業の将来性を判断し、投資判断を下す運用手法）であり、「市場見通し」については発表していません。ただし、現状の新興国株式市場のバリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）は先進国と比較して割安であるにとらえており、またクオリティーの高い銘柄に割安な水準で投資できるチャンスであると考えています。どのような市場環境においても、長期的に高い利益成長ができるクオリティー・グロス企業（質の高い成長企業）に選別投資していくというコムジェストの投資方針に変更はありません。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

	第6期末 2023年4月17日
コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド（適格機関投資家限定）	98.5%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

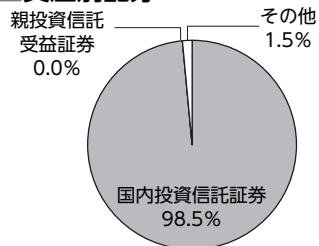
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

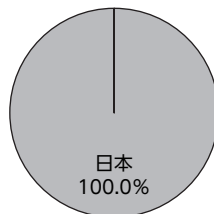
項目	第6期末 2023年4月17日
純資産総額	2,316,774,428円
受益権総口数	2,515,074,582口
1万口当たり基準価額	9,212円

(注) 当期間中における追加設定元本額は488,026,741円、同解約元本額は418,491,771円です。

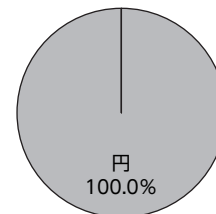
資産別配分



国別配分



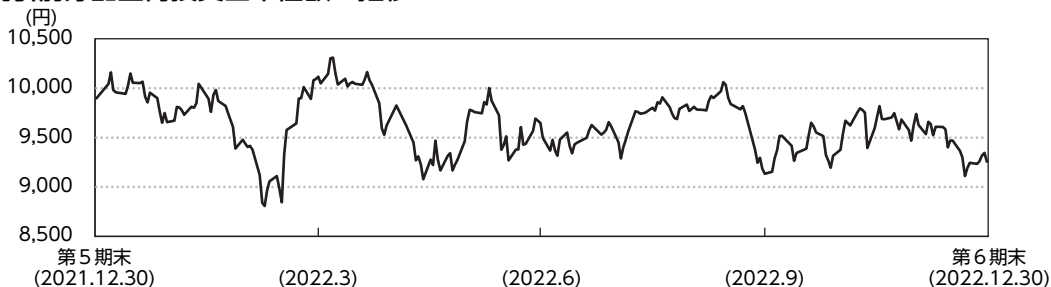
通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年4月17日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド（適格機関投資家限定）の概要

■ 税引前分配金再投資基準価額の推移



■ 上位銘柄

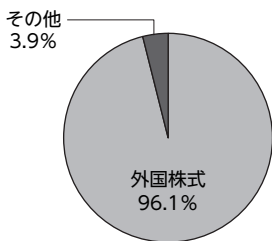
銘柄名	通貨	比率
INNER MONGOLIA YILI INDUSTRIAL GROUP CO.	人民元	5.7%
BB SEGURIDADE PARTICIPACOES SA	ブラジル・リアル	5.4
FOMENTO ECONOMICO MEXICANO	メキシコ・ペソ	5.3
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	インド・ルピー	4.9
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	米ドル	4.8
AIA GROUP LTD	香港ドル	4.7
WEG SA	ブラジル・リアル	4.1
LOCALIZA RENT A CAR	ブラジル・リアル	3.8
DELTA ELECTRONICS INC	台湾ドル	3.7
MARUTI SUZUKI INDIA LIMITED	インド・ルピー	3.7
組入銘柄数		38

■ 1万口当たりの費用明細

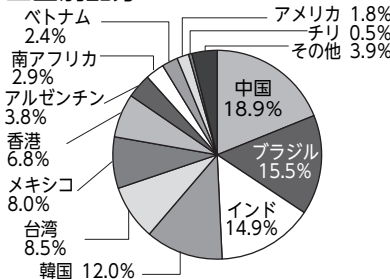
2021.12.31~2022.12.30

項目	金額
信託報酬 (投信会社)	95円 (60)
(販売会社)	(30)
(受託会社)	(5)
売買委託手数料 (株式)	5 (5)
有価証券取引税 (株式)	7 (7)
その他費用 (保管費用)	31 (15)
(監査費用)	(2)
(その他)	(13)
合計	138

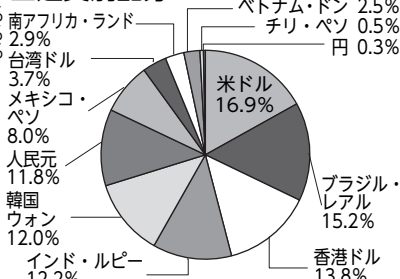
■ 資産別配分



■ 国別配分



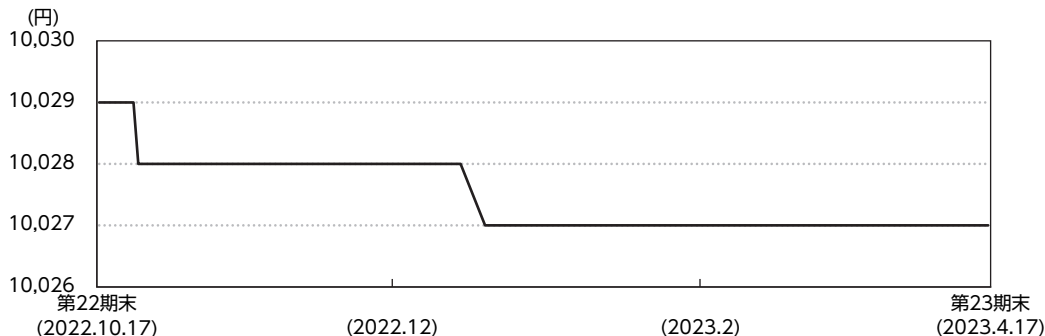
■ 通貨別配分



- (注1) 組み入れているのは「コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド（適格機関投資家限定）」ですが、上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は投資信託証券が投資しているマザーファンドの投資資産を表示しています。
- (注2) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、投資信託証券の直近の決算期のものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。
- (注3) 1万口当たりの費用明細は、投資信託証券の直近の決算期のもので、費用項目の概要については運用報告書（全体版）の1万口当たりの費用明細をご参照ください。
- (注4) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2022年12月26日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はコムジェスト・アセットマネジメントの分類によるものです（基本的にMSCI分類に基づいています）。
- (注5) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入資産の明細をご参照ください。

ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

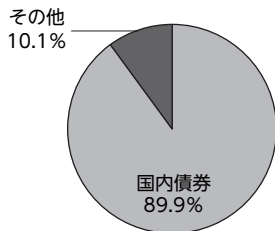
銘柄名	通貨	比率
第132回 共同発行市場公募地方債	円	22.1%
平成30年度第2回 北海道公募公債（5年）	円	21.9
第202回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	円	14.2
第26回 政保日本政策金融公庫債券	円	14.2
第49回 政保地方公共団体金融機構債券	円	14.2
第1121回 国庫短期証券	円	2.0
第374回 大阪府公募公債	円	1.4
組入銘柄数		7

■ 1万口当たりの費用明細

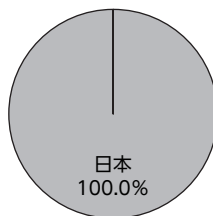
2022.10.18～2023.4.17

項目	金額
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

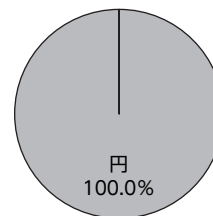
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2023年4月17日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配前)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額＋ 累計分配金	参考指数	期中 騰落率	コムジェスト・ エマージング マーケット・ファンド (適格機関投資家限定)	債券 組入比率	純資産 総額
	円	円	%	円		%	%	%	百万円
2期(2019年4月15日)	9,123	0	△ 3.7	9,123	9,968	△ 0.6	97.2	0.0	1,675
3期(2020年4月15日)	7,269	0	△20.3	7,269	8,070	△19.0	98.0	0.0	1,537
4期(2021年4月15日)	10,575	0	45.5	10,575	12,467	54.5	98.0	0.0	2,201
5期(2022年4月15日)	9,353	0	△11.6	9,353	12,362	△ 0.8	98.8	0.0	2,287
6期(2023年4月17日)	9,212	0	△ 1.5	9,212	12,074	△ 2.3	98.5	0.0	2,316

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配前）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 参考指数は設定時を10,000として指数化しています。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	参考指数	騰落率	コムジェスト・ エマージング マーケット・ファンド (適格機関投資家限定)	債券 組入比率
	円	%		%	%	%
(期首)2022年4月15日	9,353	—	12,362	—	98.8	0.0
4月末	8,961	△4.2	11,806	△4.5	98.6	0.0
5月末	8,992	△3.9	11,994	△3.0	98.3	0.0
6月末	8,971	△4.1	12,231	△1.1	98.5	0.0
7月末	8,934	△4.5	11,932	△3.5	99.1	0.0
8月末	9,085	△2.9	12,247	△0.9	99.2	0.0
9月末	8,482	△9.3	11,311	△8.5	98.8	0.0
10月末	8,696	△7.0	11,202	△9.4	98.3	0.0
11月末	8,904	△4.8	11,846	△4.2	98.7	0.0
12月末	8,563	△8.4	11,391	△7.9	98.5	0.0
2023年1月末	9,238	△1.2	12,210	△1.2	98.8	0.0
2月末	9,058	△3.2	11,847	△4.2	98.9	0.0
3月末	9,020	△3.6	11,867	△4.0	98.6	0.0
(期末)2023年4月17日	9,212	△1.5	12,074	△2.3	98.5	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2022年4月16日～2023年4月17日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド (適格機関投資家限定)	250,237	240,050	216,653	212,760

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	-	-	-	-

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2022年4月16日～2023年4月17日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2023年4月17日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
	千口	千口	千円	%
コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド (適格機関投資家限定)	2,249,251	2,282,835	2,282,378	98.5
合計	2,249,251	2,282,835	2,282,378	98.5

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	9	9

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は704,956千口です。

投資信託財産の構成

2023年4月17日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド (適格機関投資家限定)	2,282,378	97.5
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	57,719	2.5
投資信託財産総額	2,340,107	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年4月17日現在)

項目	当期末
(A)資産	2,340,107,482円
コール・ローン等	41,729,045
コムジェスト・エマーゼンブ マーケット・ファンド (適格機関投資家限定)(評価額)	2,282,378,442
ニッセイマネーマーケット マザーファンド (評価額)	9,995
未収入金	15,990,000
(B)負債	23,333,054
未払解約金	11,897,318
未払信託報酬	11,354,561
その他未払費用	81,175
(C)純資産総額(A-B)	2,316,774,428
元本	2,515,074,582
次期繰越損益金	△ 198,300,154
(D)受益権総口数	2,515,074,582口
1万口当たり基準価額 (C/D)	9,212円

- (注1) 期首元本額 2,445,539,612円
 期中追加設定元本額 488,026,741円
 期中一部解約元本額 418,491,771円
- (注2) 元本の欠損
 純資産総額は元本額を下回っており、その差額は198,300,154円です。

損益の状況

当期 (2022年4月16日～2023年4月17日)

項目	当期
(A)配当等収益	△ 18,577円
受取利息	2,267
支払利息	△ 20,844
(B)有価証券売買損益	8,545,925
売買益	11,652,187
売買損	△ 3,106,262
(C)信託報酬等	△ 22,866,668
(D)当期損益金(A+B+C)	△ 14,339,320
(E)前期繰越損益金	△ 9,620,811
(分配準備積立金)	(197,564,921)
(繰越欠損金)	(△207,185,732)
(F)追加信託差損益金*	△174,340,023
(配当等相当額)	(149,002,653)
(売買損益相当額)	(△323,342,676)
(G)合計(D+E+F)	△198,300,154
次期繰越損益金(G)	△198,300,154
追加信託差損益金	△174,340,023
(配当等相当額)	(149,002,653)
(売買損益相当額)	(△323,342,676)
分配準備積立金	197,564,921
繰越欠損金	△221,525,052

- (注1) **(B)有価証券売買損益**は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) **(C)信託報酬等**は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
- (注3) **(E)前期繰越損益金**とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
- (注4) **(F)追加信託差損益金***とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	149,002,653円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	197,564,921円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	346,567,574円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	1,377.96円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

お知らせ

■自社の実質保有比率

2023年3月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に7.1%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	2017年10月16日～2027年10月15日	
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、新興国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ／コムジェスト 新興国成長株ファンド （資産成長型）	「コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド（適格機関投資家限定）」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」
	コムジェスト・エマージング マーケット・ファンド （適格機関投資家限定）	ニッポンコムジェスト・エマージングマーケットマザーファンド
	ニッポンコムジェスト・ エマージングマーケット マザーファンド	新興国の企業が発行する株式等
	ニッセイマネーマーケッ マザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品
運 用 方 法	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・ 外貨建資産への直接投資は行いません。 ・ デリバティブの直接利用は行いません。 ・ 株式への直接投資は行いません。 	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の金額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。	

コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド

(適格機関投資家限定)
追加型投信／海外／株式

運用報告書【全体版】

《第6期》

決算日：2022年12月30日

(作成対象期間2021年12月31日～2022年12月30日)

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド」(適格機関投資家限定)は、2022年12月30日に第6期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【当ファンドの仕組み】

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
投資対象	ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。	
運用方針	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ➢コムジェスト・エス・エー社に外貨建資産の運用指図権限を委託しているマザーファンド受益証券への投資を通してこの投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として、運用を行います。 ➢親投資信託の受益証券への組入比率は原則として高位を維持します。
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ➢主として新興国の企業が発行する株式等を中心に投資を行うことにより、この投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として、運用を行います。 ➢原則として為替ヘッジは行いません。
主な組入制限	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ➢株式、外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ➢同一銘柄の株式への実質投資割合は、原則として投資信託財産の純資産総額の10%以内とします。
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ➢株式、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ➢同一銘柄の株式への投資割合は、原則として投資信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ➢分配対象範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当・利子等収益と売買益等の全額とします。 ➢分配原資が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 	

コムジェスト・アセットマネジメント株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2

HPアドレス：<http://www.comgest.co.jp/>

【当運用報告書に関するお問合せ先】

マーケティング部 TEL 03-4588-3640

受付時間 営業日の午前9時～午後5時

土日休日12月31日～1月3日を除く

当運用報告書は郵送又はEメールにて送付いたします。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額		参考指数	株組入比率	純資産総額
		税込み 分配金	期騰落 中率			
	円	円	%		%	百万円
2期(2019年1月4日)	7,958	0	△26.6	8,489	△19.0	774
3期(2019年12月30日)	9,753	0	22.6	10,441	23.0	2,104
4期(2020年12月30日)	10,680	0	9.5	11,407	9.3	1,927
5期(2021年12月30日)	9,897	0	△7.3	12,449	9.1	2,214
6期(2022年12月30日)	9,256	0	△6.5	11,623	△6.6	2,172

(注) 当ファンドにベンチマークはありません。

(注) 参考指数はMSCIエマーゼン・マーケット指数(税引き後配当再投資・USDベース)を当社が円換算して使用。参考指数は設定日前日を10,000として指数化しています。指数は、基準価額への反映を考慮して、前営業日の終値を採用しています。(以下同じ)

(注) MSCIエマーゼン・マーケット指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。同社は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。(以下同じ)

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

(注) 純資産総額は単位未満切り捨て。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額		参考指数	株組入比率
		騰落率	騰落率		
	円		%		%
(期首) 2021年12月30日	9,897	—	—	12,449	95.2
2022年1月末	9,672	△2.3	△1.8	12,225	94.2
2月末	9,478	△4.2	△3.2	12,048	94.1
3月末	10,117	2.2	0.8	12,548	93.1
4月末	9,622	△2.8	△3.5	12,019	90.6
5月末	9,662	△2.4	△1.7	12,237	91.2
6月末	9,648	△2.5	0.2	12,479	92.8
7月末	9,615	△2.8	△2.4	12,156	93.8
8月末	9,790	△1.1	0.5	12,507	91.9
9月末	9,134	△7.7	△7.5	11,516	88.1
10月末	9,376	△5.3	△8.3	11,422	90.2
11月末	9,622	△2.8	△3.0	12,078	92.9
(期末) 2022年12月30日	9,256	△6.5	△6.6	11,623	96.0

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドにベンチマークはありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

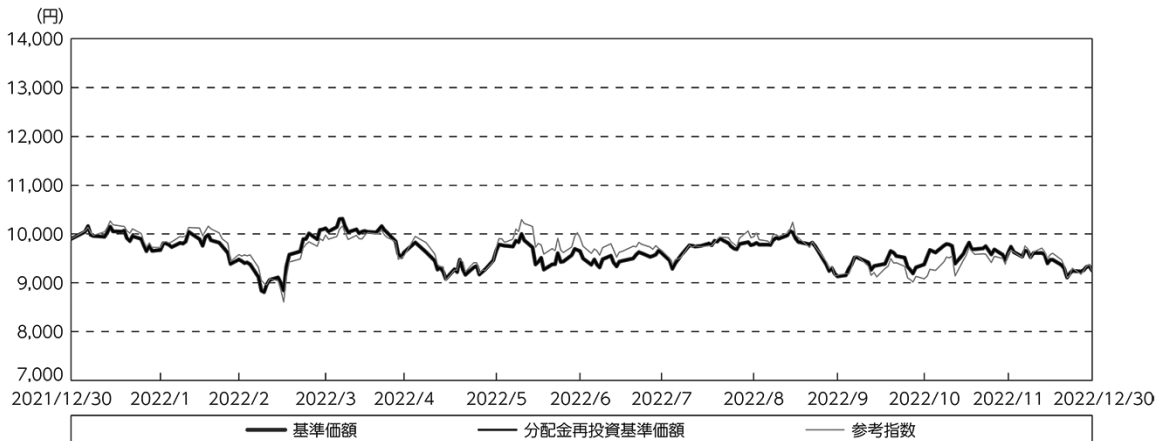
(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

【運用経過】

基準価額は、前期末の9,897円から第6期末は9,256円となり6.5%下落しました。

期中の基準価額の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

・プラス要因

厳しい市場環境下、中南米の企業の多くがパフォーマンスにプラス寄与しました。業績が堅調だったことに加え、為替レートが大きく上昇したことから、ハードカレンシーベースでのリターンが高くなったこと、資源価格の上昇によって同地域の株式市場が堅調だったことなども追い風でした。投資先企業のブラジルの大手生命保険会社、BBセグリダーデ・パルティチパソエスは、毎四半期予想を上回る決算を発表するなど堅調な業績となりました。また、発電・送電機器、工業用モーターなどに強みを持つ大手重電メーカーのブラジルのウェグも売上を着実に伸ばしたうえ、利益率も改善させた事などから大きく株価が上昇しました。コカ・コーラのボトリングを手掛けるメキシコのフォメント・エコノミコ・メヒカノは、2桁の利益成長を続け、デジタルへの投資や円滑な経営陣の交代が行われたことなどが評価されました。

・マイナス要因

マイナス要因となった主な企業は、2021年プラス寄与上位だった主要な投資先企業である半導体受託製造世界最大手の台湾セミコンダクター(TSMC)、韓国の化粧品、日用品メーカーのLG生活健康、家電および半導体製造の世界大手サムスン電子、中国の大手インターネットサービス、中国の大手乳製品メーカーのインナ・モンゴル・イーリー・インダストリアル・グループ(内蒙古伊利実業集団)、同じく中国のオンラインゲーム会社のテンセント・ホールディングス(騰訊控股)などでした。TSMCやサムスン電子といったIT企業は、資本コスト上昇の影響を受けやすく、また、在庫の増加、需要の低下や価格の下落懸念から大きく売り込まれた1年となりました。但し、両社の業績は堅調で、高い競争力を示しており、長期的な成長見通しに

大きな変更はありません。LG生活健康は、高級化粧品に強みを持っていますが、主要顧客である中国人が、ロックダウン（都市封鎖）による中国での消費低迷や、旅行制限の影響により厳しい結果となりました。同社は2023年に期待されるリオープニングの恩恵を受けられると想定しています。

投資環境

当計算期間に、MSCIエマージング・マーケット指数（税引き後配当再投資・USDベースの円換算）は、6.6%の下落となりました。この下落は、指数に占める割合の大きい、中国、韓国、台湾の株式が大きく下落したこと、2022年3月にロシアが指数から除外されたこと（評価を0とした）が主な要因になっています。米国の利上げ、ロシアによるウクライナ侵攻、そして中国における不確実性の拡大（ゼロコロナ政策、規制政策、不動産セクターの長期的かつ深刻な低迷、米中間の地政学的な緊張の拡大）なども市場下落の要因となりました。一方で、銀行、エネルギーなどのバリュー株に位置づけられる企業は、ITや消費財を中心としたグロース株を大幅に上回る上昇となりました。

運用方針・ポートフォリオについて

<当ファンド>

主要投資対象である「ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

<ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド>

- ・約款の投資方針通り、新興国の企業が発行する株式を中心に投資を行いました。
- ・銘柄につきましては、コムジェストの投資アプローチに沿って長期的に利益成長が可能だと考えられるクオリティグロース企業を選別し、妥当割安な機会をとらえて投資しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標基準となるベンチマークは設けておりません。

参考指数はMSCIエマージング・マーケット指数（税引き後配当再投資・USDベース）を弊社が円換算したものです。

参考指数との差異に関して

市場環境は、2021年同様バリュー株が強い相場環境でしたが、ロシア企業への投資が1社で比率としても限定的だったことや、保有している中南米の企業が業績堅調で市場をアウトパフォームしたこと、香港銘柄への投資、台湾での銘柄選択とアンダーウェイトがプラス寄与し、参考指数を上回りました。

分配金について

当期の収益分配金については、基準価額水準等を勘案した結果、分配を行わないことが今後の安定的な運用につながると判断し、無分配とする方針を決めました。なお、収益分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第6期
	2021年12月31日～ 2022年12月30日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,296

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<当ファンド>

主要投資対象である「ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド」の受益証券の組み入れを高位に維持し、基準価額の上昇に努めます。

<ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド>

どのような市場環境においても、長期的に高い利益成長が期待できるクオリティグロース企業に選別投資するコムジェストの投資方針に変更はありません。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年12月31日～2022年12月30日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	95	0.990	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(60)	(0.624)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(30)	(0.311)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.049	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(5)	(0.049)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	7	0.072	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(7)	(0.072)	
(d) そ の 他 費 用	31	0.320	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(15)	(0.155)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(2)	(0.025)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(13)	(0.140)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI: Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料、外国株式に関する各種手数料等（ADR手数料や税務代理人費用等）、インド株式におけるキャピタルゲイン課税、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合 計	138	1.431	
期中の平均基準価額は、9,636円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年12月31日～2022年12月30日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ニッポンコムジエスト・エマージングマーケット マザーファンド	千口 153,390	千円 304,650	千口 111,898	千円 225,370

(注) 単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2021年12月31日～2022年12月30日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ニッポンコムジエスト・エマージングマーケット マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	18,819,116千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	20,715,620千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.90	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2021年12月31日～2022年12月30日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年12月31日～2022年12月30日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年12月31日～2022年12月30日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2022年12月30日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	1,093,074	1,134,567	2,172,582

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年12月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	2,172,582	99.5
コール・ローン等、その他	11,437	0.5
投資信託財産総額	2,184,019	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

(注) ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(16,136,335千円)の投資信託財産総額(16,196,828千円)に対する比率は99.6%です。

(注) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 オフショア人民元=19.0159円	1 米ドル=132.70円	1 メキシコペソ=6.812円	1 ブラジルレアル=25.0842円
1 チリアンペソ=0.154523円	1 香港ドル=17.02円	1 韓国ウォン=0.1055円	1 シンタイワンドル=4.3157円
1 ドン=0.005611円	1 インディアンルピー=1.61円	1 南アフリカランド=7.82円	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年12月30日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	2,184,019,663	
コール・ローン等	11,437,122	
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド(評価額)	2,172,582,541	
(B) 負債	11,307,616	
未払信託報酬	11,032,584	
未払利息	32	
その他未払費用	275,000	
(C) 純資産総額(A－B)	2,172,712,047	
元本	2,347,241,905	
次期繰越損益金	△ 174,529,858	
(D) 受益権総口数	2,347,241,905口	
1万口当たり基準価額(C/D)	9.256円	

(注) 当ファンドの期首元本額は2,237,939,218円、期中追加設定元本額は316,131,002円、期中一部解約元本額は206,828,315円です。

(注) また、1口当たり純資産額は0.9256円です。

○損益の状況 (2021年12月31日～2022年12月30日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	△ 4,846	
支払利息	△ 4,846	
(B) 有価証券売買損益	△119,759,181	
売買益	3,139,150	
売買損	△122,898,331	
(C) 信託報酬等	△ 22,662,634	
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△142,426,661	
(E) 前期繰越損益金	39,402,577	
(F) 追加信託差損益金	△ 71,505,774	
(配当等相当額)	(286,658,427)	
(売買損益相当額)	(△358,164,201)	
(G) 計(D+E+F)	△174,529,858	
(H) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(G+H)	△174,529,858	
追加信託差損益金	△ 71,505,774	
(配当等相当額)	(287,155,337)	
(売買損益相当額)	(△358,661,111)	
分配準備積立金	251,827,345	
繰越損益金	△354,851,429	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(21,775,656円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(287,155,337円)および分配準備積立金(230,051,689円)より分配対象収益は538,982,682円(10,000口当たり2,296円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注) 当ファンドが主要投資対象としております、ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンドは、外貨建資産の運用の指図権限をComgest SAに委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド (親投資信託)

運用報告書 《第15期》

決算日：2022年12月26日

(作成対象期間2021年12月28日～2022年12月26日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	株式投資信託 追加型投信／海外／株式 (親投資信託)
信託期間	無期限
投資対象	新興国の企業が発行する株式等を主要投資対象とします。
運用方針	主として新興国の企業が発行する株式等を中心に投資を行うことにより、この投資信託にかかる信託財産(以下「信託財産」といいます。)の中長期的な成長を図ることを目的として、運用を行います。
投資制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 同一銘柄の株式への投資割合は、原則として投資信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合に制限は設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	純資産総額
	円	騰落率	参考指数	騰落率		
11期(2018年12月25日)	16,098	△23.0	11,545	△16.9	96.8	11,874
12期(2019年12月25日)	19,347	20.2	13,702	18.7	97.9	17,724
13期(2020年12月25日)	21,427	10.8	14,975	9.3	98.5	22,706
14期(2021年12月27日)	20,148	△6.0	16,472	10.0	95.1	24,743
15期(2022年12月26日)	19,101	△5.2	15,335	△6.9	96.1	16,143

(注) 当ファンドにベンチマークはありません。

(注) 参考指数はMSCI エマージング・マーケット指数(税引き後配当再投資・USDベース)を当社が円換算して使用。参考指数は設定日前日を10,000として指数化しています。指数は、基準価額への反映を考慮して、前営業日の終値を採用しています。(以下同じ)

(注) MSCI エマージング・マーケット指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。同社は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。(以下同じ)

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

(注) 純資産総額は単位未満切り捨て。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率
	円	騰落率	参考指数	騰落率	
(期首) 2021年12月27日	20,148	—	16,472	—	95.1
12月末	20,261	0.6	16,538	0.4	95.2
2022年1月末	19,820	△1.6	16,240	△1.4	94.2
2月末	19,439	△3.5	16,004	△2.8	94.2
3月末	20,765	3.1	16,669	1.2	93.1
4月末	19,762	△1.9	15,967	△3.1	90.6
5月末	19,867	△1.4	16,256	△1.3	91.2
6月末	19,856	△1.4	16,578	0.6	92.8
7月末	19,803	△1.7	16,148	△2.0	93.8
8月末	20,182	0.2	16,615	0.9	91.9
9月末	18,844	△6.5	15,299	△7.1	88.1
10月末	19,359	△3.9	15,174	△7.9	90.2
11月末	19,889	△1.3	16,045	△2.6	92.9
(期末) 2022年12月26日	19,101	△5.2	15,335	△6.9	96.1

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドにベンチマークはありません。

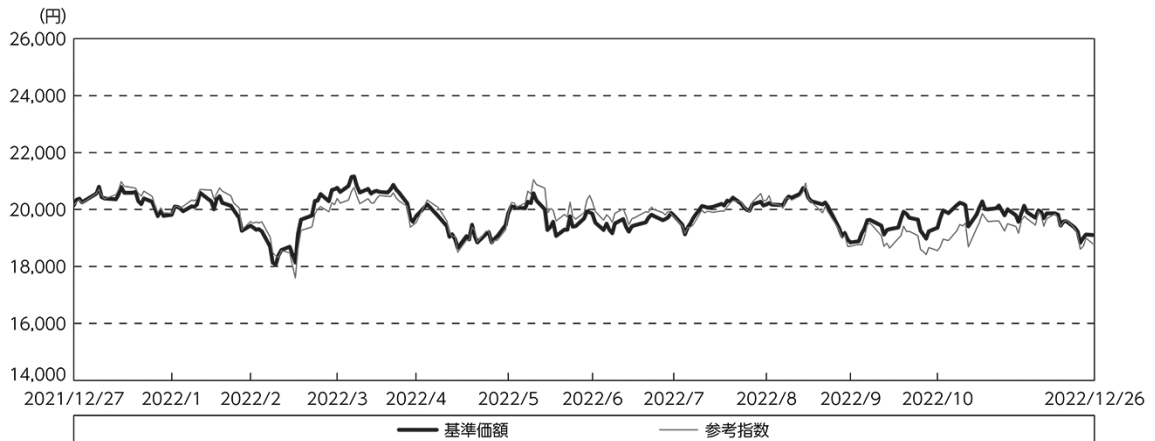
(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

【運用経過】

基準価額は、前期末の20,148円から第15期末は19,101円となり5.2%下落しました。

期中の基準価額の推移



(注) 参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

・プラス要因

厳しい市場環境下、中南米の企業の多くがパフォーマンスにプラス寄与しました。業績が堅調だったことに加え、為替レートが大きく上昇したことから、ハードカレンシーベースでのリターンが高くなったこと、資源価格の上昇によって同地域の株式市場が堅調だったことなども追い風でした。投資先企業のブラジルの大手生命保険会社、BBセグリダーデ・パルティチパソエスは、毎四半期予想を上回る決算を発表するなど堅調な業績となりました。また、発電・送電機器、工業用モーターなどに強みを持つ大手重電メーカーのブラジルのウェグも売上を着実に伸ばしたうえ、利益率も改善させた事などから大きく株価が上昇しました。コカ・コーラのボトリングを手掛けるメキシコのフォメント・エコノミコ・メヒカノは、2桁の利益成長を続け、デジタルへの投資や円滑な経営陣の交代が行われたことなどが評価されました。

・マイナス要因

マイナス要因となった主な企業は、2021年プラス寄与上位だった主要な投資先企業である半導体受託製造世界最大手の台湾セミコンダクター（TSMC）、韓国の化粧品、日用品メーカーのLG生活健康、家電および半導体製造の世界大手サムスン電子、中国の大手インターネットサービス、オンラインゲームのテンセント・ホールディングス（騰訊控股）、同じく中国の大手乳製品メーカーのインナ・モンゴル・イーリー・インダストリアル・グループ（内蒙古伊利実業集団）などでした。TSMCやサムスン電子といったIT企業は、資本コスト上昇の影響を受けやすく、また、在庫の増加、需要の低下や価格の下落懸念から大きく売り込まれた1年となりました。但し、両社の業績は堅調で、高い競争力を示しており、長期的な成長見通しに大きな変更はありません。LG生活健康は、高級化粧品に強みを持っていますが、主要顧客である中国人が、ロックダウン（都市封鎖）による中国での消費低迷や、旅行制限の影響により厳しい結果となりました。同社は2023年に期待されるリオープニングの恩恵を受けられると想定しています。

投資環境

当計算期間に、MSCI エマージング・マーケット指数（税引き後配当再投資・USDベース）は、6.9%の下落となりました。この下落は、指数に占める割合の大きい、中国、韓国、台湾の株式が大きく下落したこと、2022年3月にロシアが指数から除外されたこと（評価を0とした）が主な要因になっています。米国の利上げ、ロシアによるウクライナ侵攻、そして中国における不確実性の拡大（ゼロコロナ政策、規制政策、不動産セクターの長期的かつ深刻な低迷、米中間の地政学的な緊張の拡大）なども市場下落の要因となりました。一方で、銀行、エネルギーなどのバリュー株に位置づけられる企業は、ITや消費財を中心としたグロース株を大幅に上回る上昇となりました。

運用方針・ポートフォリオについて

- ・約款の投資方針通り、新興国の企業が発行する株式を中心に投資を行いました。
- ・銘柄につきましては、コムジェストの投資アプローチに沿って長期的に利益成長が可能だと考えられるクオリティグロース企業を選別し、妥当割安な機会をとらえて投資しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標基準となるベンチマークは設けておりません。

参考指数はMSCI エマージング・マーケット指数（税引き後配当再投資・USDベース）を弊社が円換算したものです。

参考指数との差異に関して

市場環境は、2021年同様バリュー株が強い環境でしたが、ロシア企業への投資が1社で比率としても限定的だったことや、保有している中南米の企業が業績堅調で市場をアウトパフォームしたこと、香港銘柄への投資、台湾での銘柄選択とアンダーウェイトがプラス寄与し、参考指数を上回りました。

今後の運用方針

どのような市場環境においても、長期的に高い利益成長が期待できるクオリティグロース企業に選別投資するコムジェストの投資方針に変更はありません。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年12月28日～2022年12月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 9 (9)	% 0.045 (0.045)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	13 (13)	0.064 (0.064)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	53 (31) (21)	0.265 (0.158) (0.107)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI: Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料、外国株式に関する各種手数料等（ADR手数料や税務代理人費用等）、インド株式におけるキャピタルゲイン課税、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合 計	75	0.374	
期中の平均基準価額は、19,820円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年12月28日～2022年12月26日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 1,423	千米ドル 6,530	百株 3,961	千米ドル 15,425
	メキシコ	12,103	千メキシコペソ 97,342	5,875	千メキシコペソ 62,481
	ブラジル	15,900 (69)	千ブラジルリアル 44,569 (240)	21,263 (33)	千ブラジルリアル 48,610 (154)
	チリ	1,282	千チリアンペソ 298,797	9,499	千チリアンペソ 1,948,646
	香港	5,609 (78)	千香港ドル 56,507 (2,223)	31,309 (-)	千香港ドル 141,705 (2,223)
	韓国	344	千韓国ウォン 4,815,780	1,373	千韓国ウォン 14,345,548
	台湾	1,430	千シンタイワンドル 33,339	3,040	千シンタイワンドル 77,656
	ベトナム	4,476	千ドン 35,338,718	3,266	千ドン 23,508,002
	インド	8,244	千インディアンルピー 235,111	9,576	千インディアンルピー 841,053
	南アフリカ	5,454	千南アフリカランド 38,287	16,098	千南アフリカランド 104,958
	中国オフショア	9,396	千オフショア人民元 54,960	26,426	千オフショア人民元 70,648

(注) 金額は受け渡し代金。単位未満は切り捨て。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2021年12月28日～2022年12月26日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	18,815,792千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	21,392,871千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.87

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2021年12月28日～2022年12月26日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年12月28日～2022年12月26日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2022年12月26日現在)

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
INFOSYS LTD-SP ADR	2,476	1,857	3,328	440,395	ソフトウェア・サービス	
GLOBANT SA	—	50	819	108,508	ソフトウェア・サービス	
PAGSEGURO DIGITAL LTD-CL A	1,049	387	333	44,170	ソフトウェア・サービス	
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	1,401	782	5,860	775,522	半導体・半導体製造装置	
COGNIZANT TECHNOLOGY SOLUTION A ORD	1,084	399	2,238	296,198	ソフトウェア・サービス	
MERCADOLIBRE INC	44	43	3,799	502,802	小売	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	6,057 5	3,519 6	16,380 —	2,167,599 <13.4%>	
(メキシコ)			千メキシコペソ			
FOMENTO ECONOMICO MEXICANO	10,561	8,174	126,191	862,745	食品・飲料・タバコ	
Wal Mart de Mexico SAB de CV	—	8,615	61,821	422,659	食品・生活必需品小売り	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	10,561 1	16,789 2	188,012 —	1,285,405 <8.0%>	
(ブラジル)			千ブラジルレアル			
RAIA DROGASIL ORD	—	4,988	11,911	305,446	食品・生活必需品小売り	
WEG SA	5,229	6,724	25,889	663,879	資本財	
LOCALIZA RENT A CAR	5,060	4,262	23,845	611,488	運輸	
RT-LOCALIZA RENT A CAR	—	18	24	620	運輸	
B3 SA-BRASIL BOLSA BALCAO	10,988	—	—	—	各種金融	
BB SEGURIDADE PARTICIPACOES SA	10,141	10,099	33,924	869,947	保険	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	31,419 4	26,092 5	95,595 —	2,451,383 <15.2%>	
(チリ)			千チリアンペソ			
FALABELLA SA	11,695	3,478	572,160	86,371	小売	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	11,695 1	3,478 1	572,160 —	86,371 <0.5%>	
(香港)			千香港ドル			
SHANDONG WEIGAO GROUP MEDICAL POLYMER CO	24,760	8,088	9,964	168,896	ヘルスケア機器・サービス	
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	5,053	1,278	6,449	109,316	保険	
AIA GROUP LTD	5,674	5,196	45,057	763,727	保険	
CHINA RESOURCES GAS GROUP LIMITED	1,740	—	—	—	公益事業	
ALIBABA GROUP HOLDING LIMITED	3,723	901	7,795	132,137	小売	
NETEASE INC	2,904	1,515	17,172	291,070	メディア・娯楽	
WuXi Biologics(Cayman) Inc.	—	1,830	9,891	167,654	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
TENCENT HOLDINGS LTD	1,644	489	15,680	265,779	メディア・娯楽	
HONG KONG EXCHANGE AND CLEARING	—	579	19,686	333,677	各種金融	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	45,500 7	19,878 8	131,696 —	2,232,261 <13.8%>	
(韓国)			千韓国ウォン			
SAMSUNG ELECTRONICS CO.,LTD.	1,851	957	5,565,457	576,581	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
NAVER CORPORATION	102	75	1,336,246	138,435	メディア・娯楽	
NCSOFT CORPORATION	132	54	2,361,820	244,684	メディア・娯楽	
LG H&H	80	62	4,411,890	457,071	家庭用品・パーソナル用品	
LG CHEM LTD	94	82	5,009,930	519,028	素材	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,261 5	1,232 5	18,685,343 —	1,935,801 <12.0%>	

銘柄	株数	金額	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等
			株 数	評 価 額		
				株 数	外貨建金額	
(台湾) DELTA ELECTRONICS INC	百株 6,590	百株 6,590	百株 4,980	千シンタイワンドル 139,938	千円 602,545	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 3.7% >	
(ベトナム) VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC	8,035	8,035	9,245	千ドン 70,446,900	395,277	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 2.4% >	
(インド) HOUSING DEVELOPMENT FINANCE LARSEN & TOUBRO LTD POWER GRID CORP OF INDIA LTD MARUTI SUZUKI INDIA LIMITED	3,203 977 15,885 648	3,203 977 15,885 648	1,885 — 17,045 451	千インディアンルピー 494,265 — 359,829 367,824	795,767 — 579,325 592,197	銀行 資本財 公益事業 自動車・自動車部品
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	4	3	—	< 12.2% >	
(南アフリカ) DISCOVERY LTD SANLAM LTD	6,248 13,270	6,248 13,270	2,289 6,586	千南アフリカランド 28,420 32,470	220,539 251,973	保険 保険
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	< 2.9% >	
INNER MONGOLIA YILI INDUSTRIAL GROUP CO. SAIC MOTOR CORPORATION LTD. BAFANG ELECTRIC(SUZHOU)CO.,LTD. LEPU MEDICAL TECHNOLOGY-A MIDEA GROUP CO LTD-A SHENZHEN MINDRAY BIO-MEDICAL ELECTRONICS	14,196 9,071 645 9,256 6,420 —	14,196 9,071 645 9,256 6,420 —	15,765 — 690 — 5,598 505	千オフショア人民元 49,029 — 6,865 — 29,324 15,958	926,394 — 129,721 — 554,078 301,521	食品・飲料・タバコ 自動車・自動車部品 耐久消費財・アパレル ヘルスケア機器・サービス 耐久消費財・アパレル ヘルスケア機器・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	5	4	—	< 11.8% >	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	36	38	—	< 96.1% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。—印は組み入れなし。

○投資信託財産の構成

(2022年12月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 15,508,163	96.0%
コール・ローン等、その他	650,566	4.0
投資信託財産総額	16,158,729	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

(注) 当期末における外貨建て純資産 (16,095,666千円) の投資信託財産総額 (16,158,729千円) に対する比率は99.6%です。

(注) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 オフショア人民元=18.8947円	1 米ドル=132.33円	1 メキシコペソ=6.8368円	1 ブラジルレアル=25.6433円
1 チリアンペソ=0.150957円	1 香港ドル=16.95円	1 韓国ウォン=0.1036円	1 シンタインドル=4.3058円
1 ドン=0.005611円	1 インディアンルピー=1.61円	1 南アフリカランド=7.76円	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年12月26日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	16,163,529,547 円
コール・ローン等	628,751,264
株式(評価額)	15,508,163,960
未収入金	4,808,591
未収配当金	21,805,732
(B) 負債	20,305,861
未払金	9,635,694
未払解約金	10,670,000
未払利息	167
(C) 純資産総額(A-B)	16,143,223,686
元本	8,451,390,112
次期繰越損益金	7,691,833,574
(D) 受益権総口数	8,451,390,112口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,101円

(注) 当親ファンドの期首元本額は12,280,714,076円、期中追加設定元本額は644,013,107円、期中一部解約元本額は4,473,337,071円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、【元本の内訳】の通りです。

(注) また、1口当たり純資産額は1.9101円です。

元本の内訳

コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90

(適格機関投資家限定) 5,385,472,094円

コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド

(適格機関投資家限定) 1,135,563,210円

コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95

(適格機関投資家限定) 1,067,892,439円

コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド(野村SMA・EW専用)

為替ヘッジなし(適格機関投資家限定) 660,175,952円

コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド(野村SMA・EW専用)

限定為替ヘッジあり(適格機関投資家限定) 202,286,417円

○損益の状況 (2021年12月28日～2022年12月26日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	461,593,048 円
受取配当金	438,881,436
受取利息	15,100,306
その他収益金	7,701,612
支払利息	△ 90,306
(B) 有価証券売買損益	△ 1,711,747,101
売買益	4,657,405,713
売買損	△ 6,369,152,814
(C) 保管費用等	△ 59,922,373
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,310,076,426
(E) 前期繰越損益金	12,462,840,036
(F) 追加信託差損益金	624,276,893
(G) 解約差損益金	△ 4,085,206,929
(H) 計(D+E+F+G)	7,691,833,574
次期繰越損益金(H)	7,691,833,574

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

ニッセイマネーマーケット マザーファンド

運用報告書

第 23 期

(計算期間：2022年10月18日～2023年4月17日)

運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。
・外貨建資産への投資は行いません。



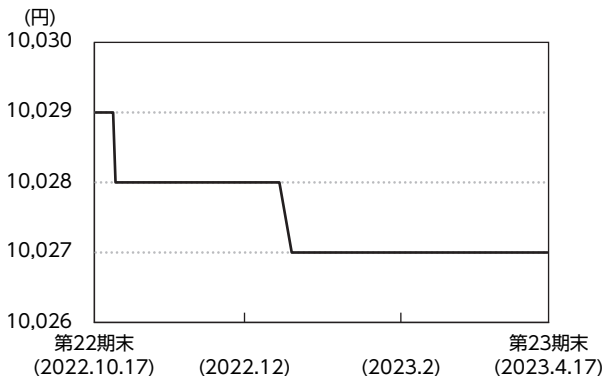
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2022年10月18日～2023年4月17日

基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

<下落要因>

- ・前期末以降、無担保コールレート翌日物のマイナス金利等が影響したこと

ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
19期(2021年4月15日)	10,029	△0.0	77.5	50
20期(2021年10月15日)	10,030	0.0	69.5	50
21期(2022年4月15日)	10,029	△0.0	69.5	50
22期(2022年10月17日)	10,029	0.0	79.4	50
23期(2023年4月17日)	10,027	△0.0	89.9	706

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2022年10月17日	10,029	—	79.4
10月末	10,028	△0.0	59.6
11月末	10,028	△0.0	59.5
12月末	10,028	△0.0	70.6
2023年1月末	10,027	△0.0	71.7
2月末	10,027	△0.0	70.1
3月末	10,027	△0.0	68.4
(期末)2023年4月17日	10,027	△0.0	89.9

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2022年10月18日～2023年4月17日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	0円	0.000%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.000)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	0	0.000	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,027円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2022年10月18日～2023年4月17日

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	14,014	—
	地方債証券	311,009	—
	特殊債券	301,574	(30,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2022年10月18日～2023年4月17日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
千円		千円	
第132回 共同発行市場公募地方債	155,957	—	—
平成30年度第2回 北海道公募公債（5年）	155,051		
第202回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	100,619		
第26回 政保日本政策金融公庫債券	100,528		
第49回 政保地方公共団体金融機構債券	100,427		
第1121回 国庫短期証券	14,014		

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2023年4月17日現在

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末							
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	14,000 (14,000)	14,009 (14,009)	2.0 (2.0)	—	—	—	—	2.0 (2.0)
地方債証券	320,000 (320,000)	320,968 (320,968)	45.4 (45.4)	—	—	—	—	45.4 (45.4)
特殊債券 (除く金融債券)	300,000 (300,000)	300,773 (300,773)	42.6 (42.6)	—	—	—	—	42.6 (42.6)
合計	634,000 (634,000)	635,751 (635,751)	89.9 (89.9)	—	—	—	—	89.9 (89.9)

- (注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。
 (注2) ()内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。
 (注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。
 (注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
国債証券	第1121回 国庫短期証券	—	2023/11/20	14,000	14,009
	小計	—	—	—	14,009
地方債証券	平成30年度第2回 北海道公募公債(5年)	0.0300	2023/ 5 /31	155,000	155,014
	第374回 大阪府公募公債	0.9380	2023/ 7 /28	10,000	10,026
	第132回 共同発行市場公募地方債	0.6600	2024/ 3 /25	155,000	155,928
	小計	—	—	—	320,968
特殊債券 (除く金融債券)	第202回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.6990	2023/10/31	100,000	100,390
	第49回 政保地方公共団体金融機構債券	0.8820	2023/ 6 /16	100,000	100,146
	第26回 政保日本政策金融公庫債券	0.9110	2023/ 7 /19	100,000	100,236
	小計	—	—	—	300,773
	合計	—	—	—	635,751

投資信託財産の構成

2023年4月17日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	635,751	89.9
コール・ローン等、その他	71,405	10.1
投資信託財産総額	707,157	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年4月17日現在)

項目		当期末
(A)資産	産	707,157,019円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等		70,979,907
公 社 債 (評 価 額)		635,751,552
未 収 利 息		302,240
前 払 費 用		123,320
(B)負債	債	323,519
未 払 解 約 金		323,355
そ の 他 未 払 費 用		164
(C)純 資 産 総 額 (A - B)		706,833,500
元 本		704,956,153
次 期 繰 越 損 益 金		1,877,347
(D)受 益 権 総 口 数		704,956,153口
1万口当たり基準価額 (C / D)		10,027円

(注1)	期首元本額	50,381,791円
	期中追加設定元本額	700,353,019円
	期中一部解約元本額	45,778,657円
(注2)	当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。	
	ニッセイグローバル好配当株式プラス(毎月決算型)	10,000円
	ニッセイマネーマーケットファンド(適格機関投資家限定)	49,952,679円
	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	9,994円
	ニッセイアメリカ高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
	ニッセイアメリカ高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
	ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
	ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
	通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
	通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
	ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・通貨ヘッジあり)	9,977円
	ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・高替ヘッジあり)	9,977円
	ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・高替ヘッジなし)	9,977円
	J P X 日経400アクティブ・オープン米ドル投資型	9,976円
	J P X 日経400アクティブ・プレミアム・オープン(毎月決算型)	9,976円
	ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型)	9,974円
	ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(年2回決算型)	9,974円
	ニッセイ/MF S 外国株低ボラティリティ運用ファンド	9,967円
	ニッセイ A 関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	9,967円
	ニッセイ A 関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	9,967円
	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(資産成長型)	9,968円
	D C ニッセイターゲットデットファンド 2 0 2 5	654,584,564円
	ニッセイ/コムジエスト新興成長株ファンド(資産成長型)	9,969円
	ニッセイ/コムジエスト新興成長株ファンド(年2回決算型)	9,969円
	ニッセイ A 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
	ニッセイ A 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
	ニッセイ/T C W 債券戦略ファンド(3ヵ月決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
	ニッセイ/T C W 債券戦略ファンド(3ヵ月決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
	ニッセイ/T C W 債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,969円
	ニッセイ/T C W 債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,969円
	ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,970円
	ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,970円
	ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,970円
	ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,970円
	グローバル・ディスラプター成長株ファンド(予想分配金提示型)	9,972円
	グローバル・ディスラプター成長株ファンド(資産成長型)	9,972円
	ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(予想分配金提示型)	9,972円
	ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(資産成長型)	9,972円
	限定追加型・繰上償還条項付ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド(為替ヘッジあり)	9,973円
	限定追加型・繰上償還条項付ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド(為替ヘッジなし)	9,973円
	ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2023-02(為替ヘッジあり・限定追加型)	9,974円
	ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
	ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなし)	9,968円
	ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
	ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,968円

損益の状況

当期 (2022年10月18日～2023年4月17日)

項目	当期
(A)配 当 等 収 益	860,754円
受 取 利 息	882,935
支 払 利 息	△ 22,181
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 957,608
売 買 損 益	△ 957,608
(C)信 託 報 酬 等	△ 1,213
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 98,067
(E)前 期 繰 越 損 益 金	143,762
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	1,955,725
(G)解 約 差 損 益 金	△ 124,073
(H)合 計 (D + E + F + G)	1,877,347
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	1,877,347

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。
- (注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

指数に関して

■ ファンドのベンチマーク等について

- ・MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスです。同インデックスに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同インデックスの内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。なお、「円換算ベース」とは同インデックスをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。